



国家改造計画

令和6年1月25日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

新しい技術という現実への対応は、全ての国家システムの転換とともに、新たな国家への転換を実現する。政治の絶対的なリーダーシップとともに、これら世界における変化へ、新たな自己における酸化を実現するものである。

NSC と内閣府におけるこれら新たな計画の作成は、官僚におけるフレームワークと計画の作成とともに、現実の改革を断行する。

これらは財政、軍、産業、社会と教育、外交における、新しい基準と基軸の作成における、時代への参加を新たに現実化するものである。

財政においてその健全化は、グローバル基準の受け入れとともに、新しいコスト基準において国家財政支出の大幅な削減を行う。また新しいシンプル化した税制への転換とともに、スリム化と消費税の引き上げを実現する。

軍における内需生産という基準は、軍事産業の再編とともに、武器の輸出の合法化とともに、世界の先端技術基準への完全な転換を早期に実現するものである。これらは国内産業への新しい技術システム要求とともに、産業の引き上げや新しい技術の開発を求めるものである。

産業は世界の産業構造へ、その安全保障とともに、新しい経済政策とともに、国内産業の再編を断行する。

教育と社会は、正しい自己の育成を基盤に、その実用性と正しい倫理要求における先端教育への転換を断行する。

外交は新しい自己基盤を極東アジアの会議において求め、地域における平和の構築とともに、新しい世界への自己プレゼンスの構築を実現する。これらは国民との真摯な対話とともに、その合意を基盤とした国家の転換を断行するものである。宰相の決定は必ず国家の決定なのである。これらはレーガノミクスを継承し、民間への大幅な現実の委譲とともに、その改革を断行するものである。

